



埼玉県議会議員

岡地 まさる

県政報告

信頼と責任

2026年 夏号

岡地まさる県政事務所
桶川事務所
桶川市上日出谷42-73
TEL.048(780)2982
FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

県議会6月定例会報告 一般会計補正予算【第1号】【第2号】 合計 102億915万1千円を議決

県議会6月定例会は6月15日に開会し、一般会計補正予算【第1号】46億9,529万2千円及び【第2号】55億1,385万9千円等を議決し7月3日に閉会しました(補正後累計額は2兆4,450億7,415万1千円)。

補正予算【第1号】は、平成25年に初めて発見されてから年々被害が拡大している特定外来生物クビアカツヤカミキリの緊急対策費として11億871万円が計上されたほか、国の令和7年度補正予算への対応として福祉施設職員の処遇改善等に対する支援策など、35億8,658万2千円が計上されました。

補正予算【第2号】は、国の令和8年度補正予算により追加された交付金等を活用し、物価高騰に直面する県民及び事業者への支援策や石油等由来製品の価格高騰や供給不足の影響を受ける事業者への支援策などが盛り込まれました。



6月定例会では一般質問に登壇しました。

県議会一般質問報告 (令和8年 6月25日)

一般質問の様子は動画でもご覧いただけます。



県執行部に対して質問・提言を行いました

県議会6月定例会では一般質問に登壇し、11項目20件について大野知事はじめ県執行部に対し質問・提言を行いました。今号ではその主な内容を抜粋して報告します。県政に対する皆様のご意見や感想などをお寄せください。

■埼玉から「日本一」を目指そう

Q 県内には、日本一の川幅である「荒川」、世界一と言われる加須市の「ジャンボこいのぼり」など、魅力的な日本一がたくさんあります。県内市町村が「我が街の日本一」を競い合いながら、ユニークで興味深い地域資源を積極的に発信するような仕組みを県として作るべきと提言しました。

A 大野知事 本県には様々な日本一や日本初が存在すると認識しています。今後は各市町村ならではのユニークで興味深いエピソード等の情報提供を呼び掛け、皆様に分かりやすく紹介することで、県内市町村が積極的に地域資源を掘り起こし発信する気運を高めたいと考えます。

■「技-1グランプリ ～埼玉“高技専”まつり～」について

●技-1(わざわん)グランプリについて

Q 高等技術専門校訓練生による技能・技術を競う「技-1(わざわん)グランプリ」が今年、埼玉県で初めて開催されますが、単年度イベントで終わらずに県を代表する技能イベントへ育成すべきと提言しました。さらに高技専を将来の進学先の選択肢に加えてもらえるよう、小中学生も技能体験ができる場に広げるよう提言しました。

A 産業労働部長 まずは今回の「技-1グランプリ」を成功に導くとともに、将来的には埼玉県を代表するイベントへ育てたいと考えます。また本イベントでは、競技会に加え小中学生を対象とした「ものづくり体験コーナー」や、高技専で行っている訓練を体験できるブース等を設けます。小中学生が技能に関心を持ち、高技専が進学先の選択肢となるよう取り組みます。

●県立高等技術専門校の周知について

Q 高等技術専門校は高い就職率や、少人数制による実技中心のきめ細やかな指導、多数の資格試験で全国平均を上回る合格率等、多くの特徴があり、もっと周知するべきと提言しました。

A 産業労働部長 ご指摘のとおり、多くの方に高等技術専門校の特徴を効果的に伝えていく必要があります。そこで昨年度から、高技専で取得できる資格や目指せる仕事等、将来の姿が分かる資料を作成して配布するとともに、県主催イベント等で活用しています。企業向けには、在職者が対象のスキルアップ講習での成果等をまとめた事例集を作成し、経済団体の集まりや企業訪問等でPRしていきます。「技-1グランプリ」も、競技の様子をホームページやSNS等で動画を配信し、訓練生の技能等を広く伝えていくこととしています。今後とも、高技専の特徴がより多くの人に伝わるよう積極的に周知していきます。

●技能人材の社会的評価向上について

Q 建設業・製造業では、深刻な担い手不足が続いていますが、技能人材がこれまで十分に評価されてこなかった側面もあります。技能人材の社会的評価向上にどのような思いで取り組むのか伺います。

A 大野知事 県では、技能検定の実施や卓越した技能者への表彰等、技能人材の社会的評価の向上に努めてきました。今年度の「技-1グランプリ」開催も、社会的評価向上に資すると考えています。今後も技能人材の魅力や価値を広く発信し、社会的評価の向上につなげていきます。

■クビアカツヤカミキリへの対応について

●クビアカツヤカミキリの被害と市町村への補助制度案内について

Q 県内各地の花の名所で指定外来生物、クビアカツヤカミキリによる被害が急速に拡大しています。昨年の6月定例会で知事は、補助制度について「早期に案内したい」と明言しました。この1年で市町村への案内・情報提供をどう進めてきたのか、また、今後の市町村支援をどのように充実させていくのか見解を伺います。

A 大野知事 私も強い危機感を抱いており、待ったなしの課題と認識しています。令和7年6月定例会後早速、担当課が国や県の補助制度を案内するとともに、継続的に意見交換を行ってきました。本定例会に提案した補正予算では、市町村ごとに1,000万円としていた補助上限額を撤廃、拡充しました。

■放課後児童クラブについて

●放課後児童クラブにおける人材の確保について

Q 埼玉県の放課後児童クラブは、令和7年5月時点で県内1,530か所あり、小学校数の約2倍、全国2位の数となっています。小学校児童のうちの約25%が通っており、今や放課後児童クラブは必要不可欠な社会インフラです。しかし放課後児童クラブの利用者の増加に対し、支援員や補助員等の確保が課題となっています。人材確保のため、県はどう対策を講じていくのか伺います。

A 福祉部長 人材確保には、まず職員の処遇改善が何よりも重要です。そこで県では国の補助制度を活用し、職員の経験年数等に応じて賃金改善に活用できる補助制度を設け、市町村を通じて処遇改善を支援しています。今後はこの補助制度未実施の市町村に対し、実施を促していきます。さらに今年度から「放課後児童支援員魅力発信動画」を県ホームページやSNS等で発信していきます。

●全県的な住民参加型の監視体制の構築について

Q 桜の景観を将来世代に引き継ぐという強い決意で対策に取り組む必要があります。全県的に市民、自治体、公園管理者等による通報体制を強化すべきと考えており、住民参加型の監視体制を構築すべきと提言しました。

A 環境部長 県は県全体での情報共有体制を新たに構築するとともに、県民参加を一層促し、被害を早期に把握できる仕組みづくりに取り組めます。また機運醸成を図るため、県民が防除を行うイベントの開催も、県から市町村等に呼びかけていきます。本県の豊かな緑や美しい景観が失われることは大きな損失です。かけがえない環境を次世代に引き継いでいけるよう、先手先手で全県的対策にしっかり取り組んでいきます。

■地元問題について

●一級河川江川の浸水被害対策について

Q 一級河川江川の流域では、現在もゲリラ豪雨などによる浸水被害が続いており、地元住民からは調節池の早期完成や治水安全度の向上を望む声が高まっています。江川上流部における調節池整備の進捗状況と今後の見通しについて伺います。

A 県土整備部長 江川上流部の調節池(容量約12万㎡)は、これまでに用地取得が完了して調節池周囲への速水矢板工事や溜めた水を排水する樋管工事等が完成しています。令和8年度は越流堤や調節池の周りを囲む堤防の工事を進めており、その後、調節池の掘削工事等を実施し、早期に整備効果が発現できるよう取り組んでいきます。

●県道桶川停車場線の整備について

Q 県道桶川停車場線は着実に整備が進められていますが、利用者からは、歩行者等の安全確保や交通渋滞の緩和が図られるよう、早期の完成を、待ち望む声を数多くいただいています。現在の進捗状況と今後の見通しについて伺います。

A 県土整備部長 県は平成28年度に用地取得に着手し、現在の用地買収率は97%となり、まとまって用地が確保できた桶川駅前交差点において中山道側に暫定的な右折帯を整備しています。令和8年度は引き続き用地取得を進め、電線共同溝や支障物件の移設工事を実施します。今後とも、自転車や歩行者が安全に通行できる空間の確保や交通渋滞の緩和を図りながら、市とも連携し、早期の事業効果発現に取り組めます。

一般質問ではその他、以下の項目について質問・提言を行いました。

■今後の埼玉県のインフラ整備について

大規模プロジェクト事業の推進は、本県にとって非常に重要であると考えており、今後の埼玉県のインフラ整備に対する伊藤副知事の所見を伺いました。

■若年層を中心とした多重債務問題について

県内の特に若年層の多重債務問題の現状について質問するとともに、多重債務問題の予防策について、高校・大学での金融教育、消費者教育を強化していくべきと提言しました。

■ねりんピックを契機とした高齢者が活躍できる社会づくりについて

ねりんピックの意義や魅力をどのように県民へ伝えていくのか質問するとともに、イベントを契機として高齢者が生きがいを持って活躍できる社会づくりの実現を提言しました。

■本県における個人県民税の収納対策について

悪質な滞納案件に対しては毅然と取り組むよう要請するとともに、「公平で信頼される税務行政」の実現にどう取り組むのか質問しました。

■医療的ケア児等の短期入所サービスの充実について

医療的ケア児等に対する短期入所サービス提供が不足している地域への計画的な事業所の開所や定員の確保等、サービスの充実についてしっかり取り組むべきと提言しました。

■地域コミュニティの衰退と県の支援の在り方について

県内における担い手不足の状況、活動の停滞等、地域コミュニティの現状をどのように把握しているのか、また地域コミュニティの維持・再構築に向けて、県はどう市町村を支援していくのか伺いました。

一般質問の全文は県議会ホームページからご覧になれます▶



私が一般質問したクビアカツヤカミキリの緊急対策について(補正予算[第1号])

1.被害状況

○サクラ等バラ科樹木の被害拡大
H30年度: 8市(128箇所)
⇒ **R7年度: 56市町村(1,391箇所)**



今夏も成虫の飛散・産卵等による被害拡大の恐れ

2.対応方針

8月までの成虫発生期・産卵期や、11月までの幼虫活動期までの間に集中的な広域的防除を展開し、被害拡大を抑制

3.対策内容 合計 11億 871万円

(1) 県管理施設における緊急防除の実施: 5億1,371万円

▶ 被害木の伐採、農薬散布・注入

(対象: 県管理136施設、県管理道路・河川の約6千本)



農薬散布の様子



農薬注入の様子

(2) 市町村における防除に対する支援: 5億9,500万円

○補助率: 1/2(上限1,000万円⇒なし【拡充】)

○補助対象: 被害木伐採、農薬散布・注入、住民が行う防除への補助 等

全市町村の集中的な対策を後押し

県民・事業者の皆様へのお願い

○成虫を見つけたら、その場で駆除

○フラスや成虫を発見したら、県や市町村へ報告

クビアカツヤカミキリ発見大調査を6/15~8/31に実施



岡地まさる 県政事務所

〒363-0026 埼玉県桶川市上日出谷42-73
Tel. 048-780-2982 / Fax. 048-780-2983

ポスティング作業など、お手伝いいただける方を募集しています。詳しくは岡地まさる県政事務所へお問い合わせください。